

注記事項

1. 貸借対照表関係

運営費交付金から充当されるべき退職給付の見積額は、1,779,469,857円です。

運営費交付金から充当されるべき賞与見積額は、112,237,301円です。

2. 損益計算書関係

ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、1,159,524円の利益であり、当該影響額を除いた当期総損失は2,252,403円であります。

3. キャッシュ・フロー計算書関係

(1)資金の期末残高の貸借対照表上の科目は、現金及び預金であります。

(2)重要な非資金取引は以下の通りであります。

①寄付による資産の取得	76,069,500円
②寄付による少額資産の取得等	189,840円
③ファイナンスリースによる資産の取得	40,950,000円

4. 固定資産の減損

当期において、以下の資産について減損を認識しております。

(1)海技大学校児島分校

a. 減損を認識した資産の用途・種類・場所・帳簿価格の概要

用途	種類	場所	減損処理前帳簿価格(円)
教育用	土地(敷地)	岡山県倉敷市	1,079,000,000

b. 減損に至った経緯

海技大学校児島分校の土地、建物及び構築物については、独立行政法人整理合理化計画(平成19年12月24日閣議決定)において、「海技大学校の児島分校(岡山県倉敷市児島味野4051-2)については、その機能を海技大学校本校等へ統合し、校舎は廃止する。」とされました。これを受けて平成20年度末に児島分校での事業を終了し、平成21年度に海技大学校本校等への機能移行作業を行い、その後、校舎の廃止をすることといたしました。

また、海技大学校児島分校の土地については、市場価額が著しく下落しており、回復の見込みが認められないため減損を認識しております。

c. 減損金額の内訳

固定資産の種類	損益計算書に計上していない減損損失の額(円)
土地	202,300,000

d. 回収可能サービス価格の算定方法

土地は、正味売却価額を使用し、価格調査に基づく価額によっております。

5. 重要な債務負担行為

(1)重要な工事請負契約

契約を締結し、翌期以降に支払が発生する重要なものは、以下のとおりです。

(単位:円)

件名	翌期以降支払額
国立清水海上技術短期大学校総合実習棟新営工事	224,666,438
レーダ・ARPAシミュレータ装置の賃借	50,022,000

6. 金融商品に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用は想定しておらず、定期預金及び有価証券等は保有しておりません。
 預り金には、学生・生徒が学校で生活するために必要な経費を、学校預り金として計上しております。

(2) 金融商品の時価に関する事項

期末日における貸借対照表上計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:円)

	貸借対照表上計上額 (*1)	時価(*1)	差額(*1)
(1) 現金及び預金	1,372,068,478	1,372,068,478	—
(2) 未払金	(346,162,537)	(346,162,537)	—
(3) 預り金	(221,586,848)	(221,586,848)	—
(4) リース債務(*2)	(139,804,190)	(139,936,277)	(132,087)

(*1) 負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2) リース債務については、1年内支払予定額を含んでおります。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未払金及び(3) 預り金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) リース債務

時価については、新規にリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

7. 賃貸等不動産に関する注記

当法人は、平成21年3月31日業務停止した海技大学校児島分校の土地を倉敷市に有しています。

また、芦屋市の海技大学校に入学する学生を寄宿させるための学生寮を有しています。

(単位:円)

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期末増減額	当期末残高	
1,317,984,026	△ 222,270,950	1,095,713,076	1,097,427,464

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

(注2) 当期増減額のうち、主な増減額は次のとおりです。

減損損失による減少(土地)	202,300,000
減価償却による減少(学生寮)	19,970,950

(注3) 当期末の時価は、土地は「土地価格調査表」を基に算定した金額、学生寮は国土交通省の建設工事費デフレーターに基づいて算定した金額であります。

また、賃貸等不動産に関する平成22年3月期における収益及び費用等の状況は次のとおりであります。

(単位:円)

賃貸収益	賃貸費用	その他 (売却損益等)
1,482,200	24,966,656(19,970,950)	202,300,000(202,300,000)

※賃貸費用に含まれる損益外減価償却相当額については、()で内数として記載しております。

※その他のうち、損益外減損損失相当額については、()で内として記載しております。